



柳島小だより

オリンピックイヤーの夏

令和3年 7月20日
茅ヶ崎市立柳島小学校
校長 大野 洋



いよいよ東京オリンピックが開催されます。理解が進まない中、緊急事態宣言が発令されての開催です。これにかけてきた選手の努力や気持ちを考えると応援したい。医療従事者のさらなる負担に繋がるとしたらそれは止めたいし発病する人が増えるのも困るというなんとも複雑な気持ちです。本来ならば気持ちよく出場選手の応援をして楽しみたいのですが・・・この気持ちは、規模や対象が違いますが、学校現場で行事を計画するときとよく似ていると感じています。運動会や修学旅行、キャンプ、音楽会など。その年にしか経験できない児童の気持ちを考えると、なんとかして開催したい。しかし感染が広がり、危険に及ぶような事態になってしまっただけでは元も子もない。そんなジレンマと1年間闘ってきたように思います。大切なのは、開催されるようになったら対策のルールを守り、自分そして他者へも感染予防をしながら行動することだと思います。自国で開催される熱い戦いを映像越しですが目の当たりにして感動を得ることができると思います。学校行事に関しても、これからの感染状況をにらみながら子どもの安全を第一に、そのうえで最大限できることを模索していきたいと思います。

いよいよ長い夏休みに入ります。今年の夏の気温は平年並みかやや高く、暑い期間が長く続く予想です。熱中症と感染症そして交通事故に気をつけてお過ごしください。毎日で大変ですが、健康観察と検温を夏休み中もよろしくお願ひします。子どもたちの健康と安全を心から祈っています。

タブレット端末を使い始めて



6月号にタブレット端末のiPadを活用するための準備を行い、各教室で使い始めたこととお知らせしました。学校へ行こう週間にてその様子をご覧になった方もいらっしゃるのではないかと思います。PCやタブレット端末は、個人で調べたり表現したりする為のツールというイメージがあったのですが、新たなコミュニケーションツールとしての役割が大きいということがわかりました。スマートフォンやPCなどでのSNSのやりとりを考えれば当たり前のことですが、教室の友だちとの考えの共有や意見交換でも有効ということです。担任側では、資料は黒板に拡大した物を張り出したり人数分印刷した物を配布したりする形で提示していました。iPadでは、先生機から子どものiPadに一気に転送することができます。子どもは、使いたい資料をスラッシュして選んだり、拡大して見やすくしたりできます。また、資料はカラーで見やすいのです。その資料をそのまま使って、気になったところに印をつけたり考えを入力したりします。今までは、黒板に出て発表したり、拡大機を使用して共有を図っていたのですが、教室全員分の意見を駒割りして一度に確認したり、ある児童の意見を転送してみんなで共有したりできます。意見の違いをカードの色で分けて、一目で傾向を確認したり、発言が苦手な子の意見を共有できたりと利点もいくつか発見できました。ただ、そのiPadも万能ではありません。ノートや教科書などの既存の教材とどのように棲み分けて活用していくのが課題になるようです。